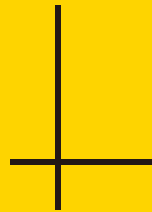




答えを探すな。

”問題”を探せ。



滋賀県立大学 | 環境科学部  
環境政策・計画学科

＋  
答えを探すな。  
問題を探せ。



問題が決まっていれば、答えだって決まってくる。  
ワンクリックで、すぐに答えが見つかるかも知れない。

でも、そんな学びって楽しい？

答えの前に、誰も気づかなかった問題を自分の力で発見すること。  
そこから始める方がよりクリエイティブで、  
世の中にとっても価値あることだと私たちは考えます。

だから、机にかじりつく前に、まずは現場に飛び出す。  
そして、できるだけ多くの人と対話をする。

目を凝らし、耳を澄ませば、  
今、自分が取り組むべき問題がきつと見えてくるはず。

一言では表しきれないこの学びを「おもしろい」と感じられるなら、  
4年間で磨いたものは、必ずあなたの武器になるでしょう。

# 環境政策・計画学科 学びのステップ

授業についての詳しい情報はこちら

 <http://depp-usp.com/about/class>

## 現場で役立つ スキルを学ぶ

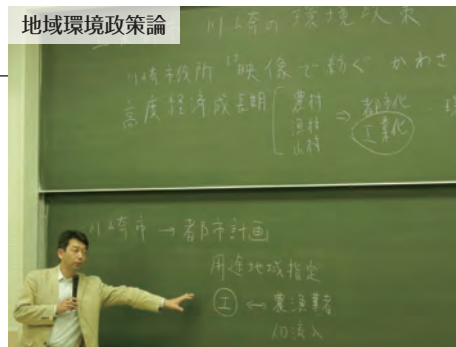
環境問題の現場では必須の、調査やファシリテーションについてなどの基礎知識を学びます。

## 現場を実践的に学ぶ

実際現場に立って、環境イベントを企画・実施したり、市民の話し合い(合意形成)の場で意見をまとめたりなど、実践的に学びます。

## 環境の専門知識を学ぶ

環境政策・計画学科では、基礎となる理論から専門的な内容まで、広い範囲で学びます。



地域環境政策論  
環境政策学  
国際環境資源論  
環境法  
廃棄物管理論  
地球環境システム論  
森林環境学  
景観計画  
など

「環境で鍛えたチカラは、社会のどこでも通用する」

市民や行政・企業に対し、言わば環境のスペシャリストという立場で政策計画を立案。持続可能な社会に導いていくための能力を磨きます。

そのために、机上だけではなく、まちづくりや環境活動の現場に飛び込み、**答えの前に問題を発見するところから始める「生きた学び」を実践**していきます。

ここで培った「発想する」「提案する」「全体を見通す」「物事を推進させる」といった力は、社会で求められる普遍的なスキル。

どんな分野でも通用する人材となつて、将来の選択肢を広げてください。

多彩な視角を持って  
現場に立てるように、  
幅広い専門知識を学ぶ

環境問題とは、自然と人間社会が絡み合った現場に生じています。

この問題を理解して解決するためには、自然生態系の挙動だけでなく、人間社会の制度や仕組みも学ぶ必要があります。この学科では、多彩な視角を持って現場に立てるように、幅広い専門知識を学ぶ科目はもちろん、実践的なスキルを身に付ける科目を用意しています。自身で問題を見つけて取り組む実践的なチカラを育むプログラムとなっていますので、環境問題に限らず、卒業後の実社会でもすぐに応用できる社会人基礎力が磨かれます。



ファシリテーション技法・演習



政策形成・施設演習

合意形成支援技法  
GIS演習  
地域調査法  
環境情報演習  
環境シミュレーション  
環境経済演習  
など



イベント計画演習



政策計画演習

社会調査実習  
社会システム分析設計  
環境マネジメント演習  
地域調査法  
など

## 卒業研究

### 問題発見

学生自ら探し出した「問題」をもとに卒業論文のテーマを決めます。

### 調査分析

テーマにあった研究室で教員の指導を受けながら、さまざまな調査方法で研究を進めます。

### 問題解決の糸口発見

調査・分析により、明らかにしたことから、「問題解決」するための糸口や課題を発見します。

4年間の学習の「集大成」としての卒業研究

自分で探し出した問題を最大限の努力を傾けて取り組むことで得られる最大の収穫、それは**自分の視点で「社会の一端がはつきりと見えるようになる」こと**、1500日ある**大学生活総決算として「自分がよくわかるようになる」こと**です。



## 過去の卒業研究

### 研究 その1

鈴木 雅大 さん(2013年度卒業)

## 環境にも体にもいい有機野菜、いくらなら買ってもらえる？

消費者は、有機野菜を「安全、新鮮、おいしい」とイメージしています。しかし、そのようなイメージがあるにもかかわらず、有機野菜の普及は一向に進みません。「なぜ売れないのか？」そして「いくらなら売れるのか？」について研究しました。

## 社会実験を実施

実際の売り場で、消費者が有機野菜をいくらなら購入するかを調査しました。



### 問題解決の 糸口発見

有機野菜の値段が高いことに加え、消費者に正確な情報が行き届いていないという問題があることがわかりました。そういった問題によって、消費者が不信任を持ち購入されていないという側面があるのです。

研究室や過去の卒業研究のリストはこちら  
<http://depp-usp.com/about/soturon>

### 研究 その2

松浦克彦 さん(2012年度卒業)

## 開発途上国の小さな島、ツバル 増えるつづけるごみをどう管理すればいいの？

海拔1メートルの島国ツバル。環境問題は地球温暖化により生じた海面上昇だけではなく、水質汚染。遠く離れた異国の地の、山積みの問題へと挑みます。



### 調査 分析

## 聞き取り調査・アンケート調査を実施

分別してごみを捨てない住民がいることを聞き取り調査で把握したり、ツバルの住民にアンケート調査を行いました。

### 問題解決の 糸口発見

アンケートから、プラスチックごみの存在しない離島からの移住者が特に分別できていないことを把握しました。また、都市での居住年数が増えるほど、分別に適応していくことがわかりました。結果をもとに、ごみ収集作業の効率化にむけた政策提案をしました。

## Q&A

### この学科は文系？理系？

環境問題がある現場に文系理系の区別はありません。どちらの視点も必要なのです。教員も文系理系のどちらの専門家も所属しています。数学や理科の持つ理系的思考は大事ですし、国語や地歴・公民の持つ文系的思考も大事なことです。必要に応じてどちらの知識も使えるように考えています。

### 授業以外での課外活動などの取り組みはある？

全学の取り組みですが、本学科の学生も積極的に参加しているものとして「近江楽座（おうみらくざ）」というプログラムがあります。学部学科を超えた学生がチームをつくって地域に入り、プロジェクトを協働でおこなうもので、大学が積極的にサポートしています。本学科の学生でも、お寺の残蠟（不要となった蠟燭）からリサイクルキャンドルを再生してキャンドルナイトを広める活動を進める『あかりんちゅ』や、子どもが集まるレトロな雰囲気のカフェを古民家で運営する『能魅会（のみかい）』、日本に在住する外国籍の子どもたちを支援する『バンディラ・ジ・オウロ』などのグループに中心にかかわっています。自分たちで地域に入り込むと得ら

## 幅広い専門分野の教員から学べます

教員一人当たり学生数はわずかに4名。1回生から少人数のゼミが始まり、教員との距離が近い学科です。

井手 慎司	水環境管理、土木環境システム、環境影響評価
金谷 健	廃棄物管理論
上河原 献二	環境法、環境政策
近藤 隆二郎	環境計画、環境社会システム
香川 雄一	人文地理学、環境地理学、都市社会地理学
高橋 卓也	環境経営、森林政策・計画、資源・環境経済
林 宰司	環境経済学、環境政策論
村上一真	環境経済学、開発経済学、社会心理学、地域経済・政策論
和田 有朗	土木環境システム
小野 奈々	環境社会学、地域社会学、NPO・NGO論
平山 奈央子	湖沼流域ガバナンス、水資源管理、住民参加、意思決定手法
松本 健一	環境・エネルギー政策、環境経済学

この学科の教員紹介 <http://depp-usp.com/prof>

### 何か資格が取れる？

高等学校教諭一種免許（公民）、学芸員資格、社会調査士資格、GIS学術士資格、地域調査士資格、自然再生士補資格などを取ることができます。

### 過去の卒業生の進路は？

どのような職種にも間口は開かれています。環境問題を考えることで身につけたチカラは、どんな分野にも通用すると考えていますので、幅広い職種への進路をすすめています。

## 主な就職先

(株)日本環境カウンセラー・みずほ情報総研(株)・大和ハウス工業(株)・郵便事業(株)・明治安田生命保険(相)・日本通運(株)・(株)ゼンリン・(株)滋賀銀行・(株)大垣共立銀行・京都中央信用金庫・岐阜信用金庫・(株)電通テック・パナソニックフードアプライアンス(株)・南海電気鉄道(株)・大和リース(株)・大正富山医薬品(株)・北陸農政局・近畿運輸局・国税専門官・滋賀県庁・滋賀県警察・兵庫県警察・彦根市・京都市・横浜市・豊中市・京都市立小学校・青年海外協力隊・琵琶湖環境科学研究センター・草津市議会議員 など

## 主な進学先大学院

滋賀県立大学・東京大学・東京工業大学  
京都大学・名古屋大学・九州大学など





キャンドルのあかりが教えてくれたこと



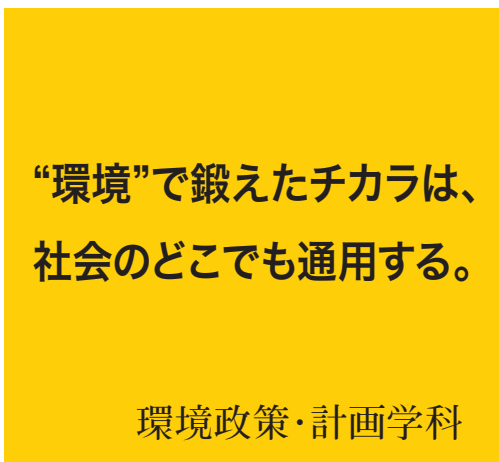
「ファシリテーション」という社会の普遍的スキルを磨く



廃棄物は宝の山!?



舞台は世界。『現場』でこそ見える問題がある。



“環境”で鍛えたチカラは、  
社会のどこでも通用する。

環境政策・計画学科



海外と日本の環境マネジメントの違い



滋賀県行政で環境の仕事をする事の誇り



生まれ育った街のために、自分ができること。



企業が変わらなければ、社会は変えられない。

環境政策・計画学科

<http://depp-usp.com/>

お問い合わせ E-mail: [cssoffice@ses.usp.ac.jp](mailto:cssoffice@ses.usp.ac.jp) (環境政策・計画学科控室)

在学生・卒業生が取り組んでいる  
「問題」をHPでチェック!



〒522-8533 彦根市八坂町2500  
TEL: 0749-28-8200(代表)  
HP: <http://www.usp.ac.jp>